

対ソロモン草の根・人間の安全保障無償資金協力 「ロイムニ地域診療所整備計画」供与式

令和元年7月3日、チョイセル州ノースウエスト地区にて「ロイムニ地域診療所整備計画」の供与式が行われました。本式典には、遠山大使の他、州保健医療局及び州政府関係者を含む約300名の参列者があり、盛大に執り行われました。

同資金協力では、地域住民の医療インフラの向上を目的とし、診療所1棟（1階建て7部屋・トイレ）の建設および雨水タンク2基を整備するための資金（US\$82,771（SBD\$637,336））が供与されました。当プロジェクトにより、周辺地域の人々が一次的医療サービスのへの身近なアクセスが可能となります。

遠山大使は、「日本がプロジェクトを通じてソロモンの発展に貢献できたことをとてもうれしく思います。そして、この施設が今後長きに渡って大切に利用されるよう願っています。」と祝辞の中で述べました。また、州保健医療局長より、日本のチョイセル州への継続的な支援への感謝の言葉が述べられ、村長より、「コミュニティの初の日本人訪問者は第2次世界大戦中時の日本兵でした。そして今回の日本の訪問者は、私達のために診療所のプロジェクトを持ってきてくれました。この素敵なギフトに心より感謝いたします。」と述べました。

完成した診療所



鍵の引渡し



祝いの儀式の様子



集合写真

